

1. ファーマーズマーケットの販売力向上 売上10億円達成

平成20年5月に開設したファーマーズマーケット「う宮〜な」の平成28年度の売上が、10億4,456万円となり、開設8年目にして10億円の大台を超えました。現在の出荷会員は430会員で、会員の平成28年度の平均の年間売上は131万円。500万円以上は33会員で、1,000万円を超す会員は4会員です。また、平成28年度のファーマーズマーケットのレジ通過者は43万6,517人で県下でもトップクラスです。

売上増は以下が要因と分析します。農産物のよりいっそうのブランディングを進めます。

【売上増の要因】

- ・ 農産物のブランディングによる商品力の向上
- ・ 木曜ダイナマイトなど効果的な集客イベントの実施
- ・ WAON等の電子マネーの導入
- ・ 富士山周辺への観光客の集客
- ・ 広報誌、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなど各種メディアを利用したPR

▶ 休日はもちろん、平日でも観光客等に
でにぎわうファーマーズマーケット
「う宮〜な」



2. 競合店・他企業への参入

他企業と連携し、農産物の販路拡大を進めています。例えば、イオングループへの平成28年度の農産物販売金額は、1,129万1,220円でした。

【提携企業】

- ・ マキヤグループ（エスポット・ポテト）
- ・ イオングループ
- ・ 静鉄ストア
- ・ アピタ
- ・ 桃中軒
- ・ 道の駅、サービスエリア
- ・ セブンイレブン朝霧高原店



▲ WAONチャージ機の導入

▶ イオン富士宮店へJA富士宮コーナー開設 清組合長視察



3. 農産物のブランディング

落花生のJA富士宮ブランドの確立をすすめてきた結果、富士宮の落花生栽培面積は約70％、生産量は約50トと静岡県下一の生産量を誇るまでに成長しました。平成28年度のファーマーズマーケット「う宮～な」での生落花生の販売金額は3,608万7,399円で、主要農産物となっています。

今後も落花生のよりいっそうのブランディングを進めるとともに、エダマメなどの他品目についてもブランディングを組合員と一緒にすすめます。



◀ 主力商品に成長した 富士宮産落花生

4. 学校給食・認定こども園への地元産農産物の利用拡大

富士宮市学校給食へは、JA富士宮ブランドコシヒカリ「う宮米」を月1回利用して頂いています。また本年度より認定こども園リーチェル幼稚園の給食にも地元農産物の提供を開始しています。また、富士宮産の牛乳を富士・富士宮の学校給食に提供する予定の「富士の国乳業株式会社」へ出資しています。

▶
リーチェル幼稚園の給食は、農家組合員の生産する農産物で作られています。



5. 各種助成金の対応と農業機械のリース

JA富士宮独自の助成金制度で、農家組合員の農業生産を支援するほか、アグリシードリースなどのJA系統助成金対応を積極的に進めています。

また、播種機や堆肥散布機などの農業機械のリースを行っています。

【平成28年度助成金実績】

- ・ 基金協会4件
- ・ アグリシードリース2件
- ・ JA農家支援35件
- ・ 親元就農支援



▲アグリシードリースで導入した自動芋掘り機